

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例 検討部会について（報告）

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

開催内容

- ▶ 開催日時 令和 6 年 1 0 月 2 3 日（水）1 9 時 3 0 分～2 1 時 1 0 分
- ▶ 開催場所 船橋市保健福祉センター 2 階 小会議室①
- ▶ 出席委員

土居 良康	会長（一般社団法人船橋市医師会）
藤平 崇志	委員（公益社団法人船橋歯科医師会）
木澤 尚子	委員（一般社団法人船橋薬剤師会）
川田 理恵	委員（公益社団法人千葉県看護協会）
渡邊 哲也	委員（一般社団法人千葉県精神保健福祉士協会）
- ▶ 議事内容

議題等 1	船橋市医療安全推進協議会事例検討部会 部会長の改選について
議題等 2	船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について
議題等 3	相談事例の検討について

議題等 1 委員の互選にて会長に土居良康委員が選出された

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

議題等 2 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について

部会の目的等について、部会委員と改めて共有を行った

【目的】

- ▶ 支援センターに寄せられる相談事例を委員と共有する
- ▶ 支援センターに寄せられた個別の相談事例の対応策の検討にとどまらず、相談事例をもとに医療提供施設が共通して持つ医療安全に関する課題を抽出し、課題の解決につなげる

【事例の選別】

- ▶ 共有事例：医療提供施設、相談者、支援センターがそれぞれの役割を果たすことで改善が期待される事例
- ▶ 医科：各団体でも検討してもらい、会員等への周知等により改善が期待される事例
- ▶ 歯科：各団体でも検討してもらい、会員等への周知等により改善が期待される事例
- ▶ 薬局：各団体でも検討してもらい、会員等への周知等により改善が期待される事例
- ▶ 看護：院内連携や初期対応の徹底で改善が期待される事例
- ▶ 精神：一般診療科との連携やP S W、M S W等との連携で改善が期待される事例
- ▶ 啓発：患者や市民に対して、広く制度の理解を促していく事例

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

議題等 3 相談事例の検討について

- 1 診療所・歯科診療所における処方に関する相談事例
- 2 インターネット予約に関する相談事例
- 3 骨粗しょう症の治療薬に関する相談事例

これらの相談事例について、それぞれの事例から見られる課題について委員と意見交換を行った

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

事例①

診療所・歯科診療所における処方に関する相談事例

- （１）ペニシリンアレルギーであることを伝えていたがフロモックスが処方されたが、薬局の疑義照会により薬が変更となった
- （２）妊娠していると伝えているにもかかわらずドンペリドンが処方されたが、薬局の疑義照会により薬が変更となった
- （３）かりつけの診療所（精神科）にて、複数回、数量や薬の種類など処方に誤りがあり困っている。薬局で気づいてもらって患者には処方されなかった

いずれの相談も医療機関に対して強く指導を求めるものであった

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

事例①

診療所・歯科診療所における処方に関する相談事例

委員からの意見

- ◆ （１）の相談に関しては薬局側の説明の問題もあった
- ◆ メリット、デメリットの比較により活用することもあるが、正しく説明することが大事
- ◆ 医療機関の電子カルテでアラートが出るとよいが、細かい内容までアラートをかけることは難しく、知識で対応するしかないのが現状
- ◆ 疑義照会の多い薬剤などデータを蓄積して、全体に周知する仕組みも有効
- ◆ 薬の量に関する疑義照会や日数調整に関する照会も多いが、残薬調整を薬局に任せてもらえば医療機関も手間が省けるし、薬局と患者と一緒に確認できてよい
- ◆ 薬局では妊婦や小児に関しては特に量に注意しており、確認のため医療機関に照会することが多い
- ◆ 患者が医療機関と薬局で言っていることが異なっていて疑義照会となるケースもある

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

事例② インターネット予約に関する相談事例

- （１）相談者は高齢でインターネットが使いこなせないが、診療所から予約はインターネットでと言われて困っている。他の医療機関でも、インターネット予約をしないと長く待たされる
- （２）インターネット予約がすぐいっぱいになってしまい、予約が取れずに困っている

対処方法を教えてほしいとの相談

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

事例② インターネット予約に関する相談事例

委員からの意見

- ◆ 実際インターネット予約をやってみると予約しても来ない人が多い
- ◆ 若者はインターネット予約のところしか行かないという話もある
- ◆ 診療科によって、地域性が高い医療機関や、遠方からくる患者が多い医療機関など、状況に合わせた対応が大事
- ◆ 診療科にもよるが、まだインターネット予約だけというのは難しいだろう
- ◆ ワクチンなど変更が多いものは、余計な人手が取られないインターネット予約が有効
- ◆ インターネット予約についてはメリットもあるがデメリットもあり、現場も苦労しながら活用されている状況

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

事例③

骨粗しょう症の治療薬における相談事例

- ▶ 転倒によりひじを骨折し、整形外科にて骨粗しょう症と診断され、注射の処置とエディロールカプセルが処方された
- ▶ 医師からは注射について、骨密度を急激に高める薬と言われ、1回開始したら中止できないと言われた
- ▶ 不安を伝えると、医師から「何が心配なのか。皆それで断る。」と言り返され、何も言えなくなった
- ▶ 診察後に、プラリアサポート手帳を渡され、注射がプラリアであることが分かった
- ▶ 手帳を見て、半年に1回注射を続けること、歯科にかかるときは注射していることを必ず伝えること、出血しやすい、顎の壊死を起こすこともあることがわかった
- ◆ 医療機関にやめると言っているのか相談したい

議題等 1 船橋市医療安全推進協議会事例検討部会について（報告）

事例③

骨粗しょう症の治療薬における相談事例

委員からの意見

- ◆ 今回のケースに関しては医師の説明不足
- ◆ 歯科としては、お薬手帳やオンラインにて薬剤情報の確認ができているし、来院の際には注意の紙も持ってきてくれている
- ◆ 地域でも医療連携の仕組みづくりが行われているところ
- ◆ 患者は説明を聞いているように見えても聞いていない、理解できていないケースが多いので、お薬手帳も重要だし、マイナンバーカードで紐づけられるのはよいこと
- ◆ 目に見えるようなもので啓発することは重要